

Net Optics のインテリジェント製品

アイバイパス・スイッチ



intelligent bypass switch

iBypass Switch

- ・インラインのアプライアンスでセキュアなモニタ
- ・電源のロス、リンク・ダウン、アプリケーションのフェールによるダウンタイムを防止
- ・IPS 再配置やアップグレードの際にリンクの整合性を維持

情報

- ・リンク・ステータスとモニタ・ポート接続をグラフィック表示
- ・電源、速度、リンク、動作ステータスをLED表示

セキュリティと管理

- ・パスワードで保護された CLI からリモートのインタフェースを無効化
- ・企業にあるすべての iBypass Switch を簡単な操作の GUI で管理

アクセス

- ・ウェブ・マネジャーは1ページでユーザ・インタフェースをすべて表示
- ・システム・マネジャーは複数の iBypass Switch にアクセスと管理が可能
- ・サード・パーティの SNMP 管理ツールに対応

使いやすい

- ・冗長電源でモニタのアップタイムを確保
- ・プロトコル・アナライザ、プローブなど主要ベンダのモニタ装置をすべてテスト、対応可能

Net Optics のハートビート機能つき 10/100/1000 ベース T iBypass Switch は、電源のロス、リンク・ダウン、アプリケーションのフェールから保護します。iBypass Switch の特徴は、リモート・インタフェースからリモート・スイッチングが可能で、ネットワークのどこからでも使用率のレベルを含む基本的なトラフィック統計にアクセスできることです。



ソフトウェアが管理する iBypass Switch を介した物理層接続は、アナライザで新しいモニタ作業をする際に再接続や再設定をする必要がなくなります。この柔軟性のおかげで容易に使いやすさが向上し、ROI 効果もあがります。

バイパスを検知

モニタ・ポートは、iBypass Switch がバイパス・エネーブル・モードにあるときはサイクル・オン/オフを設定できます。バイパス・ディテクト・モードでは、モニタ・ポートは5秒のオフ、10秒のオンの周期を交互に繰り返します。バイパス・ディスエーブル・モードでは、モニタ・ポートはオンのままで、オン/オフのサイクルは休止します。

“百聞は一見にしかず”

ディスプレイとアラーム LED は、利用率のレベルがモニタ装置の容量、あるいは事前に設定したしきい値を超えているかどうかをすばやくビジュアルにチェックできます。ディスプレイからは、最高ピーク時のサイズと時間とともに、全二重リンクの双方向の、現在の帯域利用率を見ることができます。

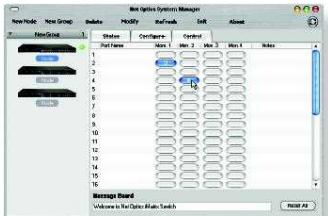
ディスプレイをすばやくチェックすることで、さらに調べる必要のあるイベントがあるかどうかわかります。使用率あるいはピーク時のイベントに対処したあとは、前面パネルの凹んだりリセット・ボタンで、あるいはリモート・インタフェースからデータをリセットできます。iBypass Switch は、新しいクリティカルなイベントを検知して表示する体制に入ります。

リモート管理

iBypass Switch のウェブ・マネジャーとシステム・マネジャーは、リモートからパラメータを設定、ステータス情報を参照、トラフィックの統計データをモニタすることができます。こうしたインタフェースは、サイズ超過/以下のパケット数、パケット・コリジョン、CRC エラーなどセキュリティとパフォーマンス情報を提供します。リモートからアラームのしきい値を設定、トラフィック・データのカウンタをクリア、モニタ・ポートをオン/オフできます。こうしたアクセスはまた、無線 PDA あるいはラップトップからオプションのワイヤレス・リンクも実行できます。



ウェブ・マネジャーはブラウザ・ベースのインタフェースで、ブラウザがあればどんな PC からでも iBypass Switch の IP アドレスにアクセスできます。システム・マネジャーは SNMP ベースの管理インタフェースです。iBypass Switch に設定をして必要な接続をしたあとは、RS232 の CLI からリモート・インタフェースを無効化できます。



iBypass Switch の設定変更はマウスを何度かクリックするだけで OK です

ウェブ・マネジャー

Net Optics のウェブ・マネジャーは、使い方が簡単な操作で設定変更、ステータス参照、ポート接続変更ができます。ウェブ・マネジャーでひとつの iBypass Switch にアクセスすると、設定、ステータス、ポート接続などすべての情報が 1 ページで表示されます。設定の変更はマウスを何度かクリックするだけでできます。

システム・マネジャー

Net Optics のシステム・マネジャーは SNMP の管理ツールで、ネットワークにあるすべての iBypass Switch を集中管理できます。

iBypass Switch は、ワークグループ、場所、その他の基準に従ってグル

SNMP

ープ別に分類できます。ウェブ・マネジャーと同じように、ステータス情報を参照、設定オプションを変更できます。iBypass Switch は、Net Optics の MIB ファイルをロードすればサード・パーティの SNMP 管理ツールでもアクセスできます。

トラフィックの継続

iBypass Switch は、インラインのアプライアンスと同じ電源を共有しているとき、どんなインライン装置でもフェール/オープンの際もモニタをサポートします。iBypass Switch が給電を受けている間は、ネットワーク・トラフィックを接続したインライン装置へ迂回しま



す。この状態では、すべてのインライン・トラフィックは iBypass Switch に接続したデバイスへ直接送られます。電源がロストすると、高速スイッチングでファースト・パスがネットワーク・リンクの整合性を維持します。

iBypass Switch が電源ロスになったときは、インライン・トラフィックはネットワーク・リンクを流れ続けますが、デバイス経由では流れなくなります。これによりネットワーク装置はネットワーク・ダウンタイムなしで取り外したり取り替えたりできます。iBypass Switch に電源が回復すると、ネットワーク・トラフィックは途切れることなくインライン装置に迂回され、重要な機能が再開されます。



ウェブ・ブラウザで iBypass Switch にアクセス、管理



ギガビット SX iBypass Switch



10/100/1000 ベース T iBypass Switch

仕様

電源

入力電源：100-240VAC、0.5A、47-63Hz

動作環境

動作時温度：0~55

保管時温度：10~70

相対湿度：10~95%（結露ないこと）

光インターフェース

ファイバー・タイプ

Corning マルチ・モード 62.5/125µm、850nm

トランシーバ：ギガビット SX 850nm、VCSEL、62.5/125µm サポート

挿入損失：<4.5dB

モニタ・ポート出力：-9.5dB

分割率：50/50

銅・インターフェース

銅・ケーブル・タイプ：

22-24 AWG UTP ケーブル、カテゴリ 5E

リンク長：100m

コネクタ

10/100/1000 ベース T iBypass Switch

管理ポート：(1) RJ45、8 ピン

モニタ・ポート：(2) RJ45、8 ピン

ネットワーク・ポート：(2) RJ45、8 ピン

シリアル・コントロール・インターフェース：(2)

DB9 コネクタ

ギガビット SX iBypass Switch

管理ポート：(1) RJ45、8 ピン

SFP モニタ・ポート：(2) デュプレックス・LC コネクタ

SFP ネットワーク・ポート：(2) デュプレックス LC コネクタ

シリアル・コントロール・インターフェース：

(2) DB9 コネクタ

インジケータ

キャラクタ LCD：(1) 2X16

リンク LED：(3/8)

しきい値アラーム LED：(2)

電源 LED：(2)

ソフトウェア

コマンドライン・インターフェース (CLI)：

ターミナル・エミュレーション・ソフト

Net Optics ウェブ・マネジャー：ブラウザ

Net Optics システム・マネジャー：

Windows 98、Windows 2000、Windows XP

認証

RoHS 完全対応

型番

IBP-HBCU3

10/100/1000 ベース T アイバイパス・スイッチ

IBPO-HBSX-SFP

ギガビット・ファイバー SX・SFP アイバイパス・スイッチ